

小竹ともこ

市政だより
「やさしさと情熱を市政に」

平成28年
11月
発行

2期目ももうすぐ折り返し。小竹ともこはこれからも全力投球で札幌・豊平区民のために働きます!



TOMOKO'S
レポート



「小竹ともこ女性セミナー」を開催しました。

7月28日、札幌市内のホテルにて、「2016 女性セミナー講演会withランチ会」と題した女性限定のセミナーを開催しました。当日は、私の「札幌市における女性活躍の現状と課題」というテーマの市政報告から始まり、講演会では、講師として株札幌丸井三越執行役員で、札幌三越店長の羽山ひの木氏をお迎えしました。

高校時代にバスケットボールで3年間、インターハイ全国大会に出場された羽山氏は、当時の三越札幌店の実業団チーム創立に尽力され、引退後は主に外商部でキャリアを重ねていらっしゃいました。演題は女性として、トップリーダーとして「働くということ」。

これまでの幾多の困難をどのように乗り越えてこられたのか、また、トップマネジメントにおいて重要なのは、「人材育成」と「覚悟を持って決断すること」など、参加者の皆さんの中に響く素晴らしいご講演をいただきました。

講演会終了後は、小竹ともこ後援会女性部とLILA'C(ライラ~働くママを応援)の共催によるランチ会を行い、初めての女性限定セミナーは盛会のうちに終了しました。



札幌三越初の女性店長
羽山ひの木氏

●羽山ひの木氏プロフィール(右)
1964年生まれ、札幌香蘭女子学園高校(現山の手高校)にバスケットボールスポーツ特待生として入学。82年、スカウトにより㈱三越札幌店に入社。86年から外商部に所属し、2010年、外商部部長等を経て、2014年10月、㈱札幌丸井三越札幌三越店長、2015年4月、執行役員に就任。



「輝く女性交流会」に参加しました。



自分らしく輝く女性達の交流会で 皆様と有意義な時間を共有しました。

(一社)北海道女性支援協会が主催する「第2回輝く女性交流会」が9月1日、札幌市内で開催され、女性議員の一人として、出席させていただきました。当日は女性経営者や学生、主婦、OLなど自分らしく輝いている女性達が集い、料理研究家、星澤幸子氏による講演や、「女性が働きながら輝き続けること」をテーマとしたフォーラムなどが行われました。仕事と家庭の両立、女性ならではの感性をいかにビジネスに活かすか、など話題は尽きず、楽しく有意義な時間を共有させていただきました。

前列左から4人目

小竹ともこ

フェスタつきさつぶ

7月16・17日に開催された「フェスタつきさつぶ」でbingo大会のお手伝いと、商店街の一員として「たこやき ともちゃん」を出店しました。

豊平区防災訓練

平岸小学校で開催されました。写真は手作りの「防災頭巾」。

FMアップルに出演

月に1度 FMラジオ番組「アップルパレード」の「議会だより」のコーナーで市政情報をお届けしています。

月寒チャレンジャーズ

祝!少年野球チーム「月寒チャレンジャーズ」20周年。

中島地区町内会ソフトボール大会を応援!

まちづくり人づくり地域の魅力づくり

議会をインターネット中継で視聴しませんか?

スマートフォンやタブレット型端末でも中継を視聴することが可能となりますので、ぜひ、一度ご覧ください。

<http://www.sapporo-city.stream.jfit.co.jp/>

小竹ともこ プロフィール

- ・札幌市立月寒小・中学校・札幌月寒高等学校 卒業
- ・STVラジオ「ランラン号」キャスター・ドライバー、旅行添乗員、(株)小竹金物店取締役。(一女三男の母親)
- ・平成23年 札幌市議会議員に初当選。
- ・平成27年 二期目当選・文教常任委員会委員長などを経て、現在は財政市民常任委員会副委員長、大都市税財政制度・人口減少対策調査特別委員、スポーツ振興プロジェクトメンバー、商店街振興議員連盟事務局長、札幌市議会カーリング支援議員協議会メンバー、札幌市議会自由民主党難病対策議員連盟メンバー、さっぽろ自民党広報委員長

(主な公職)

- ・北海道武蔵女子短期大学同窓会会長
- ・札幌月寒高等学校 学校評議員・同窓会顧問
- ・札幌真栄高等学校 学校評議員・札幌市立月寒小学校学校評議員・同窓会顧問
- ・豊平区ママさんソフトボール連盟顧問
- ・月寒忠靈塔奉賛会顧問
- ・ボーアイスカウト札幌第24団育成会副会長
- ・女子アイスホッケーチームVORTEX SAPPORO(ボルテックスサッポロ) サポーターズクラブ会長 など

豊平館
リニューアル
オープン式典にて

[活動報告]はブログやホームページでもご覧いただけます!

やさしさと情熱を市政に

小竹ともこ

ホーム
ページは
携帯からも
アクセス
できます

みなさまの声をお聞かせください
小竹ともこ 政務調査室

札幌市豊平区月寒中央通 6丁目3-28 TEL (011) 851-1300
FAX(011)851-1360 / メールアドレス kotake-tomoko@parl.biz





市政及び議員活動報告

[定例市議会・委員会・他]

■第3回定例市議会・質問ダイジェスト(会派)

- ・市長の政治姿勢について
- ・観光施策について
- ・(仮称)札幌博物館について
- ・防災体制強化に向けた今後の危機管理のあり方について
- ・児童相談所の体制強化について
- ・動物愛護センターの新設について
- ・英語教育の充実について
- ・開成中等教育学校における課題探究的な学習の成果について
- ・ICTを活用した除排雪体制の取組について
- ・産婦人科救急相談電話と救急安心センターさっぽろの集約化について
- ・産後ケアの充実について



大都市税財政制度・人口減少
対策調査特別委員会にて

特別委員会

■市民の利便性に向けた トイレの洋式化を



区役所、区民センター、地区センターのトイレの状況について質問。高齢化の中ご年配の方からは和式便器が使いづらいとの切実な声が多く聞かれますが、札幌市では設備の故障時や大規模改修の機会に洋式化を行うとの方針です。豊平区役所は昭和49年、区民センターは昭和53年築と老朽化も進んでいます。災害時には避難所に指定されていることもあり、市民の利便性向上に向けたトイレの洋式化と、暫定的な対応として手すりの設置を求めていました。

■子育て支援情報提供強化 事業について



札幌市では子育てに関する情報をより身近に提供し、子育て家庭が簡単、手軽に情報取得できるスマートフォンアプリを構築し29年4月に運用開始する予定です。最近全国的に子どもが犯罪、とりわけ性犯罪の被害対象者となっている事件・事案が相次いでいます。さまざまな情報の中でも子どもの身体、生命に関わるものは何より大切で重要なことから、緊急を要する不審者情報、地域の安全に資する情報なども取り入れることを提案、さらには運用開始後も継続的に利用者の声を反映していくことを強く求めました。

TOPICS



月寒公園再整備に 市民の声を形に 「パークライフセンター建設中」

管理事務所機能と市民活動の拠点機能を併せ持つ「パークライフセンター」は平成29年2月の完成を目指して現在建設中です。当選以来、月寒公園利活用・管理運営検討会議に毎回参加し、月寒公園を愛する住民の方々で設立された市民協議会(月寒公園ファンクラブ)の一員でもあります。協議会で検討された意見、内容について、市側に伝えるパイプ役となり、子どもたちのため「50年後」までも考えたパークライフセンターとなる様に強く求めました。

- ①気軽に立ち寄れる、雨宿りができるテラス
- ②公園活動・講習等に使える教室スペース
- ③様々な展示に対応する展示スペース

- ④多様な公園活動に利用できる移動流し台
- ⑤子連れにも優しい授乳室、多目的トイレ
- ⑥公園の旬の情報が分かる掲示板

再整備計画についてのさらに詳しい内容は、札幌市のホームページをご検索願います。
<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/keikaku/tsukisamu/index.html>
札幌市建設局みどりの推進部みどりの推進課事業推進係 TEL(011)211-2525

月寒公園再整備

検索

■「とよひらまちづくりパートナー制度」

地域のまちづくり活動に参加・協力したい事業者や団体と、町内会や豊平区を結びつける「とよひらまちづくりパートナー制度」。地域と登録者側双方にメリットがあり、多様な担い手がまちづくりを推進していくことを確認しました。この制度については次号でも報告いたします。



豊平区地域振興課で打ち合わせ

■札幌市議会自由民主党難病対策議員連盟設立

様々な困難を抱える難病患者さんに対する支援策を推進し療養生活の質の向上を図るために今後、北海道難病連の方々と一緒に取り組みます。



後列左から3人目

■どうぎんカーリングクラシック2016 開会式とウェルカムパーティーに出席しました

今大会から男女別となり、海外からのチームが男女とも5チームずつ加わったことで参加チーム数は16に拡大。カーリングの強豪国カナダ、ドイツからも参戦し、世界レベルのチームが揃った国際色豊かな大会となりました。結果は男女共にカナダチームが優勝し4日間の熱戦の幕を閉じました。



北海道銀行フォルティウス
小笠原 歩 選手(右)
船山 弓枝 選手(中央)



開会式に出席

札幌大学 西岡塾

「シニアのためのライフワーク～安心・安全な街づくり」を総合テーマに、札幌大学が地域の方の学びの場として開催している公開講座です。

「札幌市の空き家対策の現状と課題」、元衆議院議員による「国会の表と裏」など私にとても興味深いテーマでの講座も多く、開講した昨年から機会をとらえては受講しています。



昨年は(株)札幌ドーム
長沼社長も講師に

■夜間中学について

11月4日の講師は、「北海道に夜間中学をつくる会」の工藤慶一代表。私が一人でも多くの方に夜間中学の存在を知ってもらいたいから、西岡在住である工藤氏を講師にと紹介させていただきました。



「16歳選挙で日本の政治は変わった?」
札幌大学 浅野教授の講義を受講

演題は「札幌遠友塾自主夜間中学の26年と未来」講演は、校名「遠友塾」の由来、1990年4月札幌市民会館の一室を借りての授業開始以降、教室やスタッフの確保、指導方法や教材などに苦心、工夫を重ねてこられたことなど、数えきれないご苦労の一端を伺うものでした。

戦後の混乱や経済的な事情で義務教育を受けることができなかつた高齢者の方ばかりではなく、現代においては家庭内暴力や、複雑な事情で無戸籍児や居所不明児となり学校教育を受けることができないまま成人したケースもあります。私は今後も公立夜間中学の早期設置を求めていきます。



「北海道に夜間中学をつくる会」の工藤慶一代表と



「誰でも楽しく教育を」
(北大にて)

札幌大学生活協同組合 電話番号011-852-1528
ホームページhttp://www.sucoop.net/

月寒から世界へ!! 女子アイスホッケーチーム ボルテックス札幌 通信

札幌を拠点とする女子アイスホッケーチーム「ボルテックス札幌」の藤本姉妹が、豊平区の魅力をPRする「豊平区アップスマイル大使」に就任しました。地元の市議として、またボルテックス札幌サポートーズクラブの会長として、豊平区との橋渡し役となり10月6日に行われた委嘱状授与式に参加しました。姉の那菜選手(GK)は日本代表として平昌オリンピック出場をめざし妹の奈千選手(DF)さんは、今シーズンはカナダリーグ「ボストンブレイズ」で活動します。競技活動とともに区内での各種イベントを通じ「おもてなし」の取組みに協力していきます。



藤本姉妹、 「豊平区アップスマイル大使」就任!



ボルテックス サッポロ
VORTEX SAPPORO
ボルテックス サッポロ サポーターズクラブ
サポーター募集中!

スポーツを通じて青少年の健全育成、地域の振興や魅力発信を!
女子アイスホッケーチーム・ボルテックス札幌
サポーターズクラブ会長 小竹 ともこ

